

# 2 伝法まちたんけん



## 1 屋上からのながめ

たけるさんたちは、屋上から伝法のまちのようすをかんさつしました。

- ゆりえ 「北には淀川があります。大きな川です。今、鉄橋の工事をしています。」
- りょう 「北と北西には、山が見えます。一番高い山は、六甲山です。」
- なな 「東に、家がたくさん見えます。マンションの向こうは住吉湊標神社です。」
- みさお 「東のもっと遠くには、大阪城、さらに遠くには生駒山があります。」
- かおる 「西は、阪神電車伝法駅です。神戸方面や奈良方面へ電車が走っています。」
- ももか 「西のまちの向こうに、大阪わんという海があります。遠くに淡路島があります。」
- しゅう 「南の少し遠くに高いビルが見えます。弁天町のビルです。」
- ゆうき 「南西には、京セラドーム球場やあべのハルカスが見えます。」

たけるさんたちは、伝法のまちをたんけんすることにしました。



- ↑伝法の地図（国土地理院地図に一部加筆） ①小学校を赤でぬろう。 ②自分の家にシールをはろう。  
③公園をみどり色でかこもう。④地図記号の場所をしゅるいごとに色えんぴつでなぞったり、ぬったりしよう。

## 2 地図で、伝法のまちのようすをしらべよう

たけるさんたちは、伝法の地図を見て、小学校を赤でぬり、自分の家にシールをはりました。そして、地図を見ながら、まちのようすについて話し合いました。

- ゆりえ 「伝法1丁目・2丁目には、千鳥橋団地や千鳥橋住宅があります。伝法6丁目には、伝法団地があります。」
- みさお 「伝法のまん中あたりに、小学校と幼稚園と伝法駅があります。伝法3丁目と4丁目です。とても広い道路の国道43号線が南北に通っています。」
- りょう 「伝法2丁目から5丁目には、1けん家や、長屋のおうちが、多くあります。それに、せまい道もたくさんあります。『ろじ』と言います。」
- なみ先生 「伝法のまちは、古くからさかえ、戦争で焼けなかったので、ろじがたくさん残っています。伝法5丁目は、とくに古く、役所や郵便局・銀行もあったそうです。伝法小学校も、100年前に5丁目から今の場所にひっこしました。」
- ゆうき 「古いまちだから、お寺の地図記号の『卍』が多いのかな。神社の記号の『円』もあります。」
- なな 「校区の北がわには、淀川があります。南がわには、もとは正連寺川という川がありました。」
- たける 「正連寺川は今、公園になって、地下を阪神高速道路が通っています。」

たけるさんたちは、伝法の公園をしらべることにしました。



### 3 伝法の公園をしらべよう

ゆりえさんたちは、地図を見て、校区にある公園をさがしました。そして、公園のなまえや気づいたことをノートに書き、発表しました。



『校外グラウンド』は、伝法公園というよ。ほかの公園より広いね。」

『むゆうこう』とよんでいる公園は、正しくは伝法東公園というんだね。」

「わたしの住んでいる千鳥橋団地の前に千鳥橋みどり公園があります。」

「伝法北公園は小さな三角公園で、すぐ横に高い鉄とうが立っています。」

「正連寺川をうめたてて新しくできた正連寺川公園は、しばふがきれいです。」

「国道43号線の下には、伝法中公園と、伝法南公園があります。」

「港の近くには、伝法西公園があります。」

「むかしは伝法川という川でした。」

「地図には書いていませんが、伝法団地や千鳥橋団地にも公園があります。」

つぎに、ゆりえさんたちは、公園の使い方について話しました。

「公園は楽しいけれど、ごみや、らくがきがあると、いやな気持ちになります。」

「公園は、小学生だけでなく、小さな子どもや、大人の人たちも使っています。」

「きけん遊びや、人にめいわくな遊びをせず、たいせつに使います。」

### 4 まちのお店をしらべよう

ゆうきたちは、社会科の学習で、買い物について話しました。

「わたしの家は、千鳥橋団地の近くの『ダイエー』というお店でよく買い物をします。このお店は、スーパーマーケットです。」

「わたしは、いつも伝法団地の近くのスーパー『ライフ』で買い物をします。」

「伝法には、2つのスーパーマーケットがあるようですね。」

「伝法の校区外だけど、おうちの人といっしょに高見の『イオン』や、千鳥橋の『マックスバリュ』に行くこともあります。」

「ちょっとした買い物は、コンビニエンスストアで買うこともあります。」

「むかしは、スーパーはなく、みんな商店がいって買い物をしていたそうです。」

「橋をわたれば、森巣橋すじ商店がいがあります。おうちの人と、四貫島の商店がいや、春日出の商店がいに行くこともあります。」

「商店がいは、いろいろなお店があつまっていて、たのしいね。」



ゆうきさんたちは、社会科の学習で、じっさいにお店を見学して、お店の人のくふうやどりよくについてしらべることにしました。





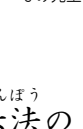
↑ 伝法幼稚園



↑ 3つの保育所  
上から 無憂園、勢至学園保育所、  
れんげ保育園

## 5 まちのしせつについてしらべよう

しゅうさんたちは、伝法にすむ人たちのやくに  
たつしせつについて、しらべることにしました。



『伝法幼稚園』があります。むかしは伝法小学校のな  
かにあったそうです。」

「わたしは『無憂園』にかよっていました。ほかには  
どこがあるのかな。」

「わたしは『勢至学園』でした。ももかさんは、『れん  
げ保育園』でした。」

「たいせつなしせつでは、『交番』が国道43号線の交  
差点にあります。おまわりさんが、わたしたちのくら  
しの安全を守ってくれています。」

「『ゆうびん局』もあります。学校の近くに伝法ゆうび  
ん局があります。千鳥橋住宅の近くには、高見ゆうび  
ん局もあります。銀行はありません。」

「『コミュニティ集会所』と『老人いこいの家』が伝法  
幼稚園のとなりにあります。」

「まちの人たちが話し合いをするところですね。此花  
中学校の前にもあります。」

「国や大阪府や大阪府がみんなのために税金で作った  
しせつを、『公共しせつ』といいます。小学校や公園、  
警察、信号機、図書館などは公共しせつです。」

しゅうさんたちは、伝法のしせつを見学することにしました。



伝法交番



此花伝法郵便局



伝法コミュニティ集会所・KUMON  
伝法老人いこいの家



伝法駅のかいさつのようす



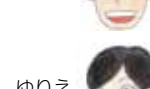
伝法駅プラットフォーム

## 6 伝法駅についてしらべよう

たけるさんのグループは、学校のとなりの阪神電車の伝法駅をしらべました。

伝法駅には、近鉄電車も走っています。

たけるさんたちは、駅員さんに、駅のしくみや、お仕事についてたずねました。



「伝法駅は、1日に何人くらいのお客さんが使っていますか。」

「1日あたりおよそ7400人（令和3年度）のお客様が利用されます。朝の8  
時ごろと夕方の6時ごろが、とくにたくさんのお客様が乗り降りします。」

「どんなお仕事をされているのですか。」

「きっぷのはんばい機や、自動かいさつ機のせいびなどをしています。目や体  
の不自由なお客さまをホームまであんないしたり、困っているお客さまに声を  
かけたり、トイレや駅の前をきれいにしたりしています。」



「どのようなことに気をつけていますか。」

「まずお客さまの安全です。だれもが安心して使え、事故のない安全な駅をめ  
ざしています。」

「駅の西がわは、今、何の工事をしているのですか。」

「線路のつけかえ工事です。淀川の鉄橋を新しく作り、線路の高架を高くしま  
す。駅も新しくなります。令和14(2032)年の完成をめざしています。」



「伝法駅は、いつできたのですか。」

「およそ100年前の大正13(1924)年です。それから40年間は、この路線の  
ことを『阪神電鉄伝法線』とよんでいました。」

「伝法駅は、たいせつな駅だったのですね。」

伝法駅からは、西九条や難波のほか、神戸や、奈良に行くことができます。たける

さんたちは、駅のことがわかり、ますます伝法駅のことが好きになりました。



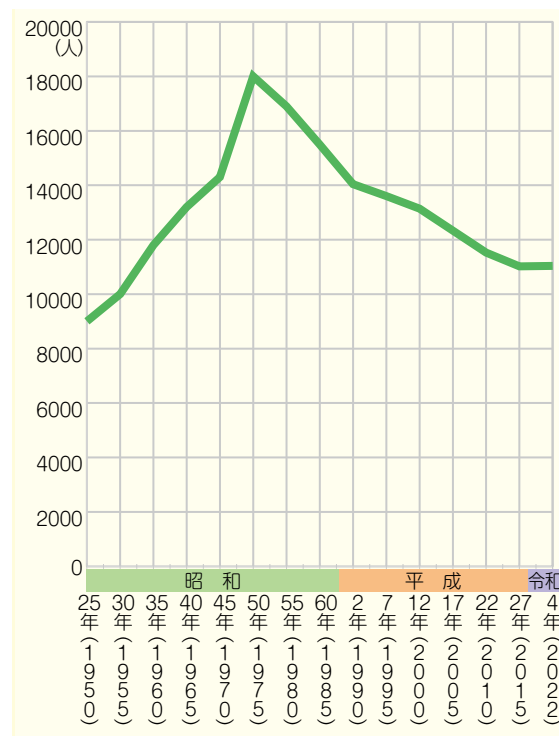
## 7 伝法<sup>でんぽう</sup>の人口<sup>じんこう</sup>についてしらべよう

まちに住んでいる人の数を「**人口**」といいます。みなさんたちは、伝法の人口についてしらべました。

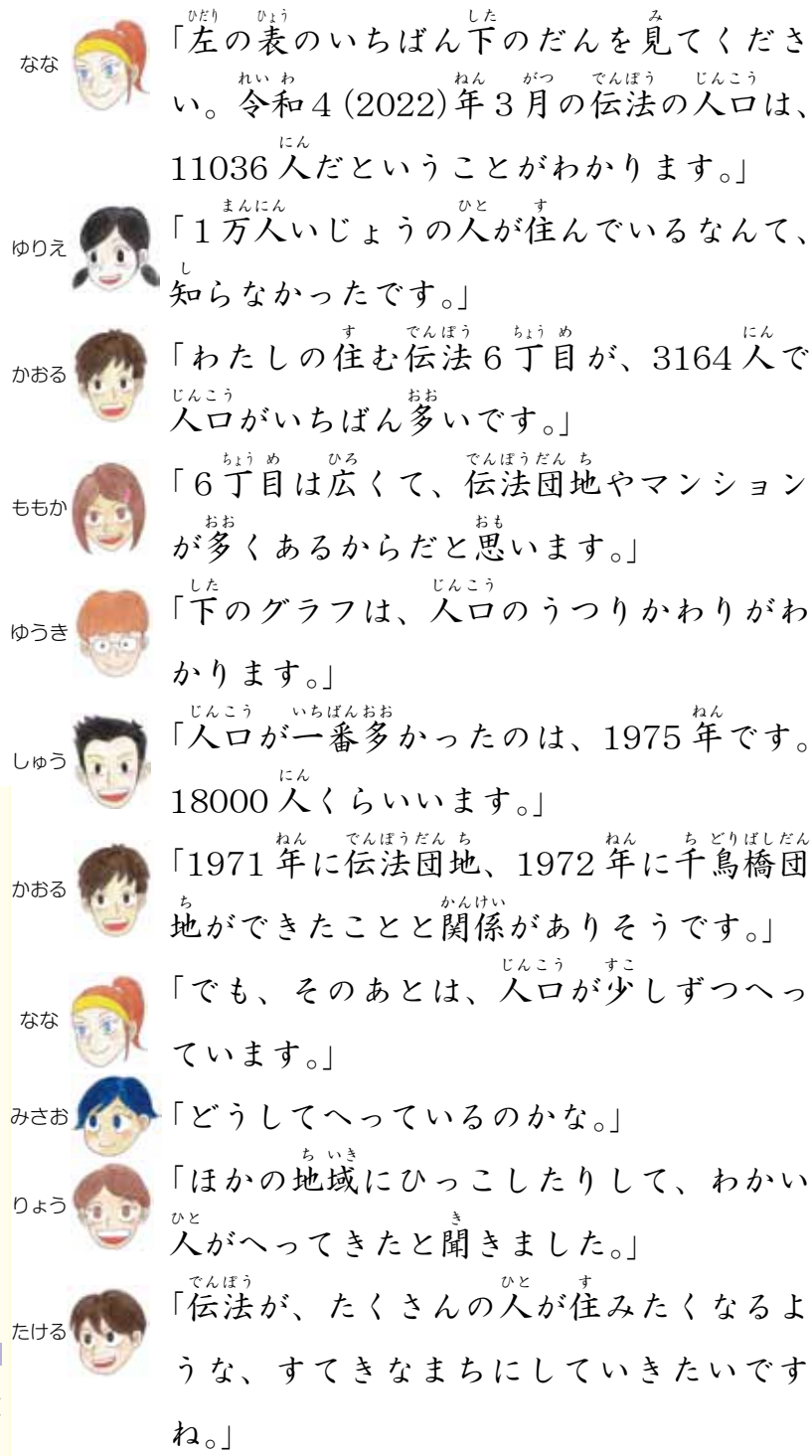
伝法の世帯数と人口  
 (住民基本台帳 2022 年 3 月調べ)

まちちょうめ 町丁目	せたいすう 世帯数	じんこう 人口
でんぼう ちょうめ 伝法1丁目	1476	2220 人
でんぼう ちょうめ 伝法2丁目	744	1450 人
でんぼう ちょうめ 伝法3丁目	814	1817 人
でんぼう ちょうめ 伝法4丁目	367	717 人
でんぼう ちょうめ 伝法5丁目	951	1668 人
でんぼう ちょうめ 伝法6丁目	1933	3164 人
こう けい 合 計	6285	11036 人

でんぽう      じんこう  
伝法の人口のうつりかわり  
こくせいちょう      さ      じゅうみん      き      ほんだいちょうしら  
(国勢調査・住民基本台帳調べ)




ななさんたちは、<sup>でんぼう</sup>伝法がすてきなまちになるように、さらに<sup>でんぼう</sup>伝法のまちについてし  
らべたり、<sup>かんが</sup>考えたりしたいと思いました。





↑「みんなで<sup>ある</sup>歩こう！ <sup>このはな</sup>此花おもしろトレイルルート」


## 8 伝法の<sup>でんぼう</sup>歴史<sup>れきし</sup>さんぽをしよう


たけるさんたちは、伝法<sup>でんぽう</sup>のすてきな場所<sup>ばしょ</sup>を見つけて、くわしくしらべることにしました。まず、たけるさんたちは、伝法<sup>でんぽう</sup>小学校<sup>しょうがっこう</sup>の正門<sup>せいもん</sup>のまえの地図<sup>ちず</sup>を見て、話し合<sup>はな</sup>いました。<sup>あ</sup>


ゆりえ  「『此花おもしろトレイルルート』って書いてあります。」


かおる  「<sup>このはな</sup>此花<sup>くはな</sup><sup>やくしよ</sup>区役所<sup>くやくしよ</sup>の<sup>ひと</sup>人が<sup>つく</sup>作った<sup>ちず</sup>地図<sup>ちず</sup>です。」

なな  「①から⑰までの<sup>ばしよ</sup>場所<sup>ある</sup>を<sup>ある</sup>歩く<sup>ある</sup>そうです。おもしろそうだね。」

みさお  「わたしたちが<sup>し</sup>知<sup>し</sup>っている<sup>ばしよ</sup>場所<sup>おお</sup>も<sup>だんぽうしやうがっこう</sup>多い<sup>だんぽうしやうがっこう</sup>ね。伝法小学校ものっているよ。」

ももか  「<sup>このはな</sup>此花<sup>くはな</sup>区の<sup>ばしよ</sup>17<sup>ばしよ</sup>この場所<sup>ばしよ</sup>のうち、なんと⑤から⑭までの10こが伝法だよ。」

しゅう  「<sup>はんぶん</sup>半分<sup>はんぶん</sup>いじょうは、<sup>でんぽう</sup>伝法<sup>でんぽう</sup>にあるんだね。」

ゆうき  「伝法は、<sup>でんぽう</sup>歴史<sup>れきし</sup>のある場所<sup>ばしよ</sup>がたくさんあるからだと思<sup>おも</sup>います。」



たけるさんたちは、伝法でんぽうにあるおもしろトレイルルートあるを歩いてみることにしました。





↑ 伝法水門



↑ 伝法の港のようす

## 9 伝法水門 おもしろトレイルルート⑤

ももか 「わたしの家から歩いてすぐのところに、**伝法漁港**と、**伝法水門**があります。市内で数少ない漁港の一つです。わたしは『伝法元気港まつり』が好きです。」

かおる 「伝法水門は、どのようなはたらきがあるのかな。」

ももかさんたちは、伝法水門について、区役所や図書館のしりょうでしらべました。むかしの淀川は、川はばがせまく、曲がりくねって、いくつもの川にえだ分かれしていました。そのため、**こう水**や**高潮の水害**が多く、伝法小学校ができて12年目の明治18(1885)年の大こう水では、大阪は大きなひがいをうけました。

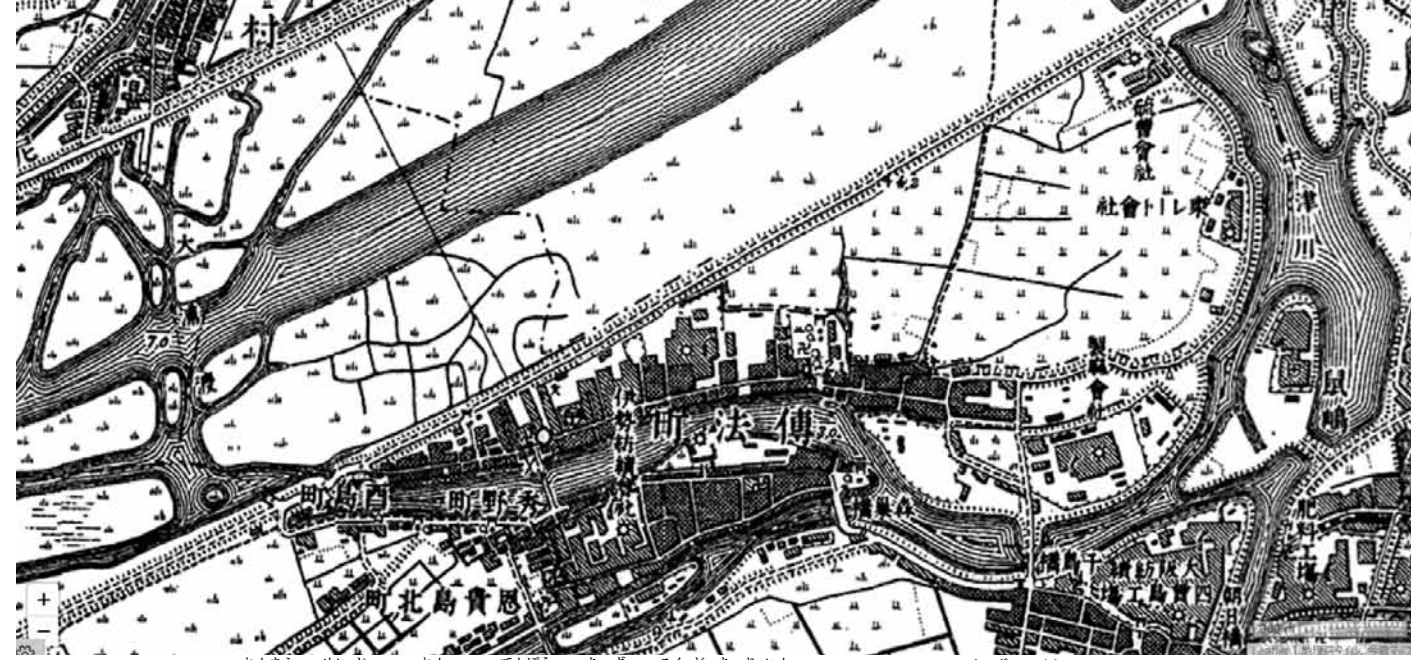
そこで、オランダ人技師の**デ・レーケ**や**沖野忠雄**らが中心となり、**新しい淀川**を作ることとなりました。およそ13年かけて、ていぼうを作り、まっすぐな川をほりました。明治43(1910)年、今の淀川が完成しました。田畑や村が川底になり、ひっこしをしなければならなくなった人もいましたが、こう水のひがいは少なくなりまし

た。今の伝法水門のところに、新淀川と伝法川を行き来する船のために、伝法**こう門**ができました。

しかし、此花区では工場で使う**地下水**をたくさんすい上げたため、**地盤沈下**がはげしくなり、伝法の土地は、海や川よりも低くなってしまいました。そこで、高潮のた

いさくとして、昭和28(1953)年、こう門の近くの漁港だけを残し、伝法川を**うめた**てました。

さらに、昭和39(1964)年、こう門にかわり、伝法水門を作りました。大雨や**高潮**のときには、**水門を閉め**、伝法のまちを**水害から守る**はたらきをします。



↑ およそ110年前(明治44年)の伝法の地図(国土地理院) 31ページの地図と比べてみよう。新淀川ができて中津川(右上)は切れています。「千鳥橋」「森巢橋」「傳法町」と書かれているところの川が伝法川です。イカリソース跡地のあたりに伝法尋常小学校の「文」の記号が見えます。学校はこの後やや東の日本鑄鋼所跡(地図の真ん中あたりの工場の記号「☆」)に移転します。

## 10 伝法川あと おもしろトレイルルート⑥

しゅう 「伝法川あとと書かれた石碑がありますね。」

ももか 「むかし、正門(赤門)の前を流れていて、各地から船が集まりにぎわっていたそうです。」

ももかさんたちは、伝法川についてしらべることにしました。伝法川は、**中津川**(毛馬で淀川から分かれて流れていた川)から**六軒家川**や**正連寺川**とえだ分かれして、伝法のまちを流れ、大阪わんにそそいでいました。

江戸時代の中ごろ(今から300年ほど前)までは、伝法川の河口は「**伝法口**」といわれ、大阪・京都・尼崎や伊丹と、全国とを結ぶ港としてたいへん栄えました。「**伝法船**」という船で、伊丹などの酒だるを江戸(今の東京)へ運びました。伝法にも造り酒屋がありました。**醤油**や**酢**・**みりん**・塗り物・紙・木綿・金物・畳表なども運びました。伝法船は、積み出しが速く「**小早**」ともよばれ、のちに「**樽廻船**」という貨物船になりました。

**河村瑞賢**が、**安治川**を掘った1684年ころから、伝法川を行き来する船は減りました。明治43(1910)年に新淀川ができ、伝法川は新淀川に合流する川となりました。**高潮**になると、海の水が伝法川をさかのぼり、大きなひがいが出るため、昭和28(1953)年には**森巢橋**から西へ900mほどがうめたてられ、今の伝法漁港だけが残りました。



↑ 伝法川跡の石碑  
伝法漁港前(上)と鴉宮前(下)





↑ 正連寺本堂



↑ 尼崎街道の道しるべ

## 11 正連寺 おもしろトレイルルート⑦

かおるさんは、正連寺について調べました。

正連寺は、寛永2(1625)年に、甲賀谷又左工門(正蓮日宝禅定門)という人が、小さな庵を建てたのがはじまりといわれています。大阪25カ寺に数えられています。重なる火災や地震の災害にあい、今ある本堂は明治7(1874)年のものです。

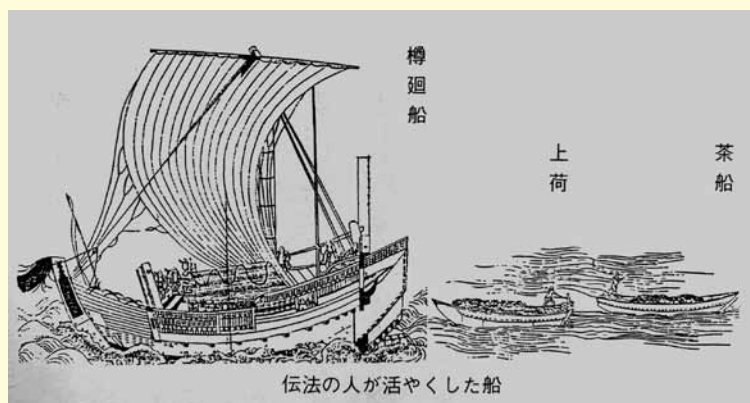
毎年8月26日に行われる「川施餓鬼」は享保6(1721)年からはじまった行事で、日本三大施餓鬼の一つとして江戸時代から有名だそうです。川施餓鬼は、亡くなった人の供養を船にのって川でおこなうお寺の行事です。

正連寺のお寺の門の前には、旧尼崎街道の道しるべが残っています。

※庵…草ぶきの小さな家

### 「伝法口」といわれていたころ

前ページの「伝法口」について、江戸時代、大阪は、伝法川口と、木津川口の2つの港に、全国から米や魚や酒などの荷物が運ばれました。やがて安治川口がその中心となりましたが、それまで伝法



は、全国でも有名な貨物ターミナルでした。右の図のような船がたくさん伝法のまちに泊まっていたのでしょう。「樽廻船」のものは、「伝法船」だったそうです。



↑ 庚申堂のお堂の上部の彫刻  
さるがももを持っています。

← 庚申堂

## 12 庚申堂 おもしろトレイルルート⑧

しゅうさんたちは、しゅうさんの家の近所にある「庚申堂」について、区役所のしりょうでしらべました。

区役所のしりょうには、つぎのように書かれていました。

国家安泰、五穀豊穰を祈願して申村神社を創建。境内には、住吉社・愛宕社・庚申社の三社をまつっていました。しかし、明治10(1877)年、愛宕社は本宮鴉宮に、明治42(1909)年住吉社は遷標住吉神社に合祀され、地元の強い希望で「庚申社」は「庚申堂」と改称されて残りました。申(さる)を施した彫刻の飾りがあることから、申神社とも呼ばれています。

- ももか 「桃をかじるおさるの彫刻があります。何となくかわいくておもしろいです。」
- しゅう 「『庚申堂』の『庚申』は『かのえ・さる』とも読み、青面金剛という鬼のような神(仏)様をまつっているそうです。」
- かおる 「このあたりは、明治時代のはじめまで『申村』という村だったそうです。新淀川の工事で、村の土地の多くは、淀川の底になってしまったそうです。」
- しゅう 「彫刻も、お堂のなまえも、村のなまえも、『さる』に関係がありそうですね。むかしの伝法・申村の人たちの思いが詰まっている気がします。」

※国家安泰…国がおちついてやすらかなこと。

※五穀豊穰…お米などの作物がゆたかにみのること。五穀とは、米、麦、粟、豆、黍または稗をさすことが多い。

※庚申…干支の一つ。





←↑西念寺 左の石碑には、「大坂道」「備前橋」、右の石碑には、「伝法小学校（旧西念寺子屋）開校の地」と書かれています。

## 13 伝法山西念寺 おもしろトレイルルート⑨

ももかさんと、しゅうさんは、西念寺について調べました。  
西念寺について、区役所のしりょうには、つぎのように書いてありました。

大化元(645)年天竺南山道宥律師の教伝により、法道仙人が弘法伝導道場を建立されたのがはじまりという。中世には摂津伝法の船寺として信仰を集め、広大な寺領を持ち、摂・河・泉、三国の四大本山の一つとして栄えたという。明治6年には小学校（現伝法小学校）が当寺に設置されていた。

ももか 「お寺の古い書物には、大化元(645)年、日本に仏教を広めるためにインドから来た法道仙人というお坊さんが、西念寺を建てたとあるそうです。」  
しゅう 「1300年いじょうの長い歴史のあるお寺ということですね。」  
ももか 「平安時代の大同元(806)年には、有名な空海（弘法大師）が道場を作ったといわれています。延喜元(901)年には、菅原道真が九州の大宰府へ行くとちゅうに、この西念寺をおとずれたといわれています。」  
しゅう 「明治6年に伝法小学校が西念寺ではじまったのは、なぜでしょうか。」  
なみ先生 「江戸時代、西念寺には寺子屋があり、伝法に住む子どもや大人が、本を読んだり書いたりして学びました。明治時代になり、学校を作るきまりができたとき、伝法地域のみなさんが、ここに学校を作ってほしいとなったのだと思います。むかし、西念寺のふきんが北伝法の中心地で、備前橋という有名な橋や大坂道（尼崎街道）が通り、役所や警察署などもありました。」



↑正門（赤門）の近くに立つ石碑



↑当時の日本鑄鋼所の工場

## 14 日本鑄鋼所あと おもしろトレイルルート⑩

伝法小学校の正門（赤門）には、日本鑄鋼所（現住友金属）の発祥の地という石碑が残っています。石碑とは、古い建物や、できごとや、かつやくした人などのことを、未来の人につたえるために、石になまえや文章などをきざんでたてているものです。

たけるさんたちは、赤門前の石碑について話し合いました。

みさお 「『日本鑄鋼所』は、明治32(1899)年に建設された我が国初の本格的な製鉄所で、翌年4月に初湯された」と書かれています。  
たける 「国が九州に『八幡製鉄所』をたてる2年前に、この場所に、本格的な鉄を作る工場を、日本ではじめて作っていたのですね。」  
ゆうき 「鉄の原料や、できた製品を船で運ぶため、淀川の近くに建てたと思います。」  
みさお 「でも、赤字のため、8年後に住友家が工場を買いとり、工場は島屋にうつりました。今も、島屋には住友金属の工場などがたくさんあります。」  
たける 「そして、広い工場のあと地に、わたしたちの伝法小学校がひっこしてきたのです。大正12(1923)年10月のことだそうです。」  
ゆうき 「日本初の鉄を作る工場だったなんて、ふしぎな感じがするね。」





↑ 湊標住吉神社

↑ (上) 鳥居の横の湊標  
(下) むかしの湊標の写真

## 15 湊標住吉神社 おもしろトレイルルート⑪

たけるさんたちは、湊標住吉神社について、区役所のしょうかい文をよみました。



たける

「伝法には、ここと鴉宮の2つの神社があります。どちらも夏祭りには、ふとん太鼓や獅子舞などが出ます。太鼓や笛や踊りもかっこいいです。」



ゆうき

「住吉神社は、全国にあります。海の手安全を守るとされているそうです。」



たける

「むかし伝法口といわれた重要な港だったことと関係があると思います。」



ゆうき

「大阪市のマーク（市章）は、船の道しるべだった湊標のデザインなのです。」



みさお

『伝法の港はこちらですよ。』って、大阪わんから伝法川に入ってくる船のひとおしに教えるために、湊標が立っていたのだと思います。」



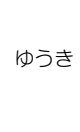
↑ 鴻池本店の建物。左に木造の旧本宅が見える。



↑ 玄関とマルキタの社章

## 16 鴻池本店・旧本宅 おもしろトレイルルート⑫

ゆうきさんたちは、鴻池本店・旧本宅を見学しました。



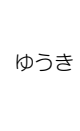
ゆうき

「明治43(1910)年に建てられた木造洋館です。アールヌーボー様式という建て方だそうです。古いようで新しいようで、かっこいいね。」



みさお

「窓をよく見ると、当時はめずらしかったカラフルなステンドグラスです。」



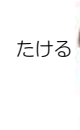
ゆうき

「となりの木造のおうちも同じく明治43年に建てられました。どちらも、令和4年4月に国の登録有形文化財に指定されたんだよ。すごいね。」



みさお

「玄関に会社のマーク（社章）があります。『北』という字にしています。」



たける

「鴻池組は、伝法小学校ができる1年前の明治4(1871)年に、同じきたでんぼうむらで土木・建築工事を中心にスタートした会社だそうです。」



みさお

「マークは、北伝法の『北』をデザインした『マルキタ』なのですね。」



たける

「鴻池組は、淀川改良工事や、伝法の近くの川や橋の工事を請け負ってきました。伝法の地域とも強いつながりがあります。」



ゆうき

「有名な会社が、伝法とつながっているのはうれしいですね。こんどは建物の中も見学してみたいです。」





↑ 鴉宮 (からすのみや)



↑ 伝法の夏祭り (獅子舞とふとん太鼓) (でんぽう なつまつ ししまい だいこ)

## 17 鴉宮 おもしろトレイルルート⑬

ゆりえさんたちは、鴉宮について、区役所のしりょうを読みました。

このはな く のこ もっと ふる でん き じゅんとくてんのう けんぽう ねん がつ むら みなと  
 此花区に残る最も古い伝記として、順徳天皇の建保3(1215)年4月、村と港の  
 はんえい き ねん でんぽうむら ちゅうしん もり す じんじゃ ちん ぎ ぶんろく  
 繁栄を祈念し、伝法村の中心に傳母頭神社として鎮座されたのがはじまり。文禄  
 がん (1592) 年、豊臣秀吉が出兵の際、瀬戸内より日本海への安全を祈願したとこ  
 ろ、神告どおり海路平安、また三本足の霊鳥「八咫鳥」が軍船の前後を飛んで船  
 を守ったと言われています。これに感激した秀吉が、帰国後、神社名を「鴉宮」  
 と改め、現在地に遷宮したと伝えられています。

- ゆりえ 「鴉宮も、夏祭りは、獅子舞やふとん太鼓があります。」
- りょう 「鴉宮はもともとは傳母頭神社だったのです。1215年は鎌倉時代です。800年以上まえから、伝法は港まちだったのです。」
- なな 「豊臣秀吉は、戦国時代に全国を統一して、大阪城を作った武将です。」
- たける 「豊臣秀吉が、1592年に伝法で安全な航海を祈ったなんてすごい。伝法は、大阪や京都と、瀬戸内海や日本海をむすぶ大切な港だったのです。」
- ゆりえ 「『やたがらす』は、日本の神話に出てくる鳥で、よいところへ道案内してくれる神様だそうです。足が3本あるともいわれています。サッカーの日本代表のシンボルマークになっています。」
- たける 「本殿や中門などは国の登録有形文化財になっています。伝法の歴史や伝統のつまったお宮なのですね。」



↑ 森巢橋 (北西詰) (もり す ばし ほうせいづめ)



↑ 森巢橋 (北東詰) (もり す ばし ほうとうづめ)

## 18 森巢橋 おもしろトレイルルート⑭

ゆりえさんたちは、森巢橋にある「此花おもしろトレイルルート」の説明を読んで話し合いました。

- ゆりえ 「森巢橋は、文久3(1863)年にかげられた、と書かれてあります。」
- りょう 「江戸時代のおわりころですね。鴉宮のもともとの名である傳母頭神社の『もりす』の名をつけたそうです。」
- なな 「豊臣秀吉が、『八咫鳥』にちなんで、傳母頭神社を『鴉宮』とあらためたのでしたね。」
- たける 「木々がぎっしりと茂っていて、からすの巣のような形をしていたので、鴉宮をこの場所にうつしたと伝えられている、と書いてあります。」
- りょう 「鴉宮の近くに、この橋をかけて、言い伝えを守ろうとしたんだって。」
- ゆりえ 「伝法川や正連寺川はうめたてられたけれど、正連寺川にかかっていた森巢橋は、鴉宮といっしょに、これからも残していきたいですね。」
- たける 「『此花おもしろトレイルルート』のうち、伝法にある10この場所を歩いてみて、とても楽しくて勉強になりました。これからも、伝法のまちのすばらしいところやおもしろいところをしらべていきたいです。」



↑ 大正8年ころの森巢橋 (ふとん太鼓のお渡り。橋にはガス灯が見える。)